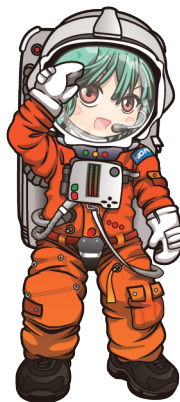


一般的な水転写式デカールの使い方



①貼り付け面はツヤありに

デカールをツヤ消し面に貼った場合は、高確率でデカールが浮きます(シルバリング)。貼り付ける面が、ツヤ消しや半ツヤ状態になってしまった場合は、貼る場所にクリアを塗装してツヤを出すと、浮き上がりを緩和できます。

②水に沈めたままにしない

デカールを貼り付けるための水溶性糊は、乾燥状態でデカールと台紙の間に存在します。水に沈めたまま放置してしまうと、ノリが流れ出して、デカールが貼り付く成分自体が溶け出し、なくなります。

③乾燥ノリが溶けるまで待つ

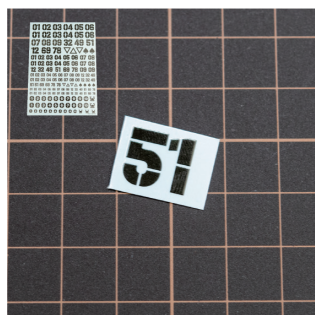
台紙を湿らせるときに、水溶性糊まで水が浸透しないとノリが機能しません。溶けたかどうかを確認しながらの作業が必須。古いデカールの場合は、ノリが溶け出すまでに時間がかかります。

より詳しい解説動画

動画では、水皿の準備、貼り方、補助剤の効能、貼り付け後の研ぎ出しまで詳しく紹介しています。



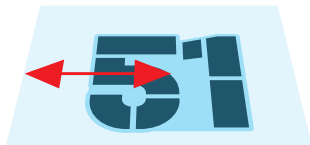
①使いたいデカールを選び、オーバーコート(透明層)の周辺をハサミを使って切り離します。



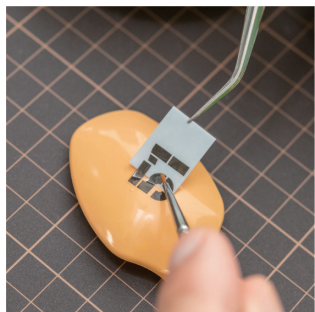
②陶器皿に繊維が出ない布やティッシュなどを折りたたんで置き、台紙裏面を水で湿らせます。



③さきほどの皿に置いたまま、デカール全体が台紙の上でスライドできるようにするまで待ちます。



⑤ピンセットと水に濡らした筆を使い、デカールを台紙からスライドさせて対象物の上に乗せます。



※デカールを引っ張るのではなく、台紙を引き抜くのがポイント。

⑥デカールスキージーや水で濡らして柔らかくした綿棒などで水を押し出しながら貼り付けます



※「デカールスキージー」は水転写式デカール貼り付け専用の吸湿スポンジ付き棒です。

⑦乾いたら、スプレーなどでツヤ調整とデカールの保護を兼ねたクリアコーティングをして完成。



※クリアコーティングに使える塗料に制約がありますので注意が必要です。